

# 韓国自閉障がいサラン協会テジョン支部のみなさんとの 第1回交流会を終えて

本年度の定期総会が終わった辺りに、自閉症センターおがるから一通の連絡が入り「札幌市国際プラザから、韓国の親の会が札幌の親の会と交流を希望している」との話でした。

ホームページや Facebook を始めてから、海外特にアジアからの問合せは年に数件ありました。多くは、札幌に引っ越しする先のこと、視察先の紹介、イベントの案内などです。

しかし、今回の話しはスケールが大きすぎて正直戸惑いがありましたが、せっかくの機会ですし、おがるはもちろん手をつなぐ育成会の協力も得られるということで、札幌国際プラザの通訳者の熱心なサポートを受けて準備に取りかかりました。

## 札幌市総務局国際交流課へ表敬訪問



10/24～27の4日間、副支部長・事務局長・運営委員・会員の親御さんが自閉症の息子さんを連れて、テジョン市国際プラザの通訳者を入れて9の方が来札されました。

テジョン市では今後自閉症センターを作る予定があり、姉妹都市である札幌の自閉症センターを視察する事、親の会が運営する療育プログラムを視察する事、これらが今回の目的でした。

## 就労移行支援事業所「えるむ」にて



ポプラ会は直接的な療育プログラムや施設を持ちませんから、その部分は「朔風えるむ」と「ともに福祉会」に協力して頂きました。

ポプラ会は、世界自閉症啓発デーでお世話になっている「(株)アルフ」と「PECS 研究会道央」の協力を得て、びっくりドンキーで取り組まれている自閉症向けメニューの体験をして頂くこととしました。

## 札幌市自閉症センターの説明



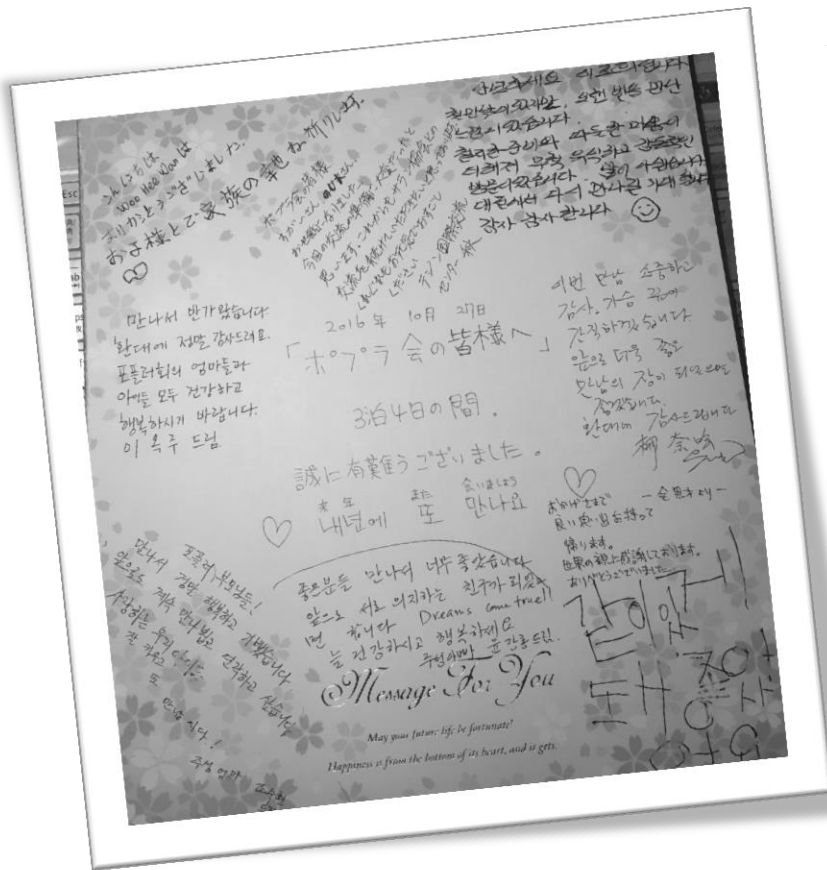
## PECS メニュー で注文を体験



それぞれの団体の活動報告会を行い、それぞれの子育ての苦勞なども通訳して頂きながら仲を深め、今後も有意義な交流を続けてゆく約束をしてお別れしました。



お見送りの際に、寄せ書きを頂きました。

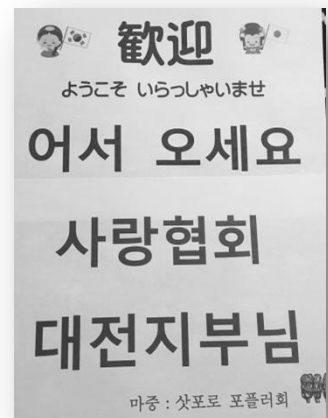


★副支部長イ・オクチュさま  
お会いできて嬉しかったです。  
歓迎に本当に感謝します。  
ポプラ会の母親達が子供達皆  
元気で幸せになるように願います。  
イ・オクチュより

★会員ユン・ジャンホンさま  
お会い出来てとても良かったです。  
これからお互いに頼る友達が  
遠い?します  
Dreams come true.  
元気で幸せになってください  
ジュソンのパパ ユン・ジャン  
ホンより

★会員チョ・スヒョンさま  
会って本当に幸せで嬉しかったです。  
今後ともずっとお目にかかって連作したいです。  
愛するうちの子供達 よく育ててまた会おう!  
ジュソンのママ チョ・スヒョンより

★会員(自閉症)ユン・ジュソンくん  
一緒に居るようになって良かったです。



注)寄せ書きは翻訳アプリのため表現がおかしな点はお許し下さい。。 文責：菅井